



令和6年4月5日
富士宮市立貴船小学校
学校だより 第1号
全校児童 515名

ご入学、ご進学、おめでとうございます。令和6年度がスタートしました。新しい学年、新しい学級、新しい友達、新しい先生との出会いに期待が膨らませて、子どもたちが4月5日登校しました。新しい環境の中で、自分の力を伸ばしていこうとしている子どもたちを家庭・地域・学校で支え、応援していきたいと思えます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

貴船小学校では、学校教育目標、育成を目指す資質・能力を以下の通り決め、今年度の教育活動を進めていきます。

【学校教育目標】 共に 未来を創る子

「共に 未来を創る子」とは、自分とまわりの人の「幸せな未来」の実現に向けて、主体的に考え、「人・こと・もの」にかかわり、行動を起こしていくこどもの姿を描いています。

「未来」は、学習や運動のめあてや生活のめあてなど、「なりたい自分」をイメージしてたてる目標、自分たちでよりよく環境を変えていく学級目標や委員会の「きぶねっ子目標」、自分たちが担う未来の貴船未来構想など、子どもにとっての近い未来も遠い未来も含め、広く捉えています。これらのめあての達成に向けて、試行錯誤したり、他者との意見交換をしたりして、その実現に向けて「共に 創る」過程で、自分の考えや価値観を変容させ、子どもたちが大きく成長していくことを願っています。

この学校教育目標の実現に向けて、今年度以下の3つの資質・能力の育成を目指していきます。

めあてに向かって調整し 実践する子

自分のめあてと、達成の見通しと作戦を立てましょう。「なりたい自分」のイメージを持つことでやる気が湧きます。取組の途中で、できたこととあともう少し頑張りたいことを振り返り、次の作戦を立て直しましょう。「うまくいかない、どうしていくか」の思いを次の行動の原動力にしましょう。失敗を肯定的に受け止めると、改善案が立てられます。試行錯誤しながら実践していく力を付けましょう。

他と関わり 新しい考えを創り出す子

分からない(できない)こと、分かる(できる)ようになりたいことが明確になると人に聞いたり、試したりしたくなり、他者との協働の場が生まれます。他者と交わることで多様な考えに出会うことができます。他者からの多様な考えを吸収して、自分の「ものの見方・考え方」を広げましょう。問題の答えは一つではありません。他者と協働して、最適解や納得解を求め、新しい考えを創り出す力を付けましょう。(他者は人だけでなく、本や体験の場合もあります。)

違いを認め合い 協調する子

515名の子どもたちが生活する学校では、多様な考えや価値観と出会います。これらの違いを受け止め、うまく調整を図る力を育むことができます。「そういう考え方もある」と認め合い、自分にとっても、相手にとってもよいものを求めていくことで、他者とともによりよく生きるために柔軟に考えたり、感じ取ったりする力を伸ばしましょう。

変化が激しく、複雑で予測困難な2030年代の社会に入る前に、子どもたちが生きる力を付けて、社会で活躍してほしいと願います。学校がその前に安心して自分の力を試したり、伸ばすことができる場所となるよう、学校と家庭、地域で、515人の子どもたちを育てていきたいと思っています。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度も子どもたちの応援団となる「学校と家庭をつなぐ会」を計画しています。どうぞご参加ください。

校長 松井 敬子

富士宮市内 俳句誌「甘藍」4月号より

- 節分だ 悪い子いるか 大泣きだ(後藤 聡太) ○雪とけて 春になろうと しているよ(倉科 瑛己)
- 春の花アハハアハハとわらってる(徳田 美月) ○たんぼぼが風といっしょにがっそうだ(仲神 希美)
- ひな祭り 五人囃子に笛持たす(伊藤 希美) ○雪の下 新しい芽が 育ってる(平松 奈央子)